

1 パソコンとデジカメを仲良く使う

パソコンの使い方は、本当に人それぞれですが、何ととっても基本の一つは“デジカメ写真を扱う”ことでしょう。写真そのものが趣味の方はもちろん、操作が簡単その場で確認できて何度も撮り直しができるデジカメはパソコンと仲良く使える代表的なものです。

このテキストでは、デジカメで撮影した写真をパソコンに読み込んで保管し、少し加工したり、簡単な作品を作ったりして基本的な楽しみ方を覚えていきます。

知っておこう 読み込んだ写真の使い方

普通に印刷



思い出アルバム



加工してフォトフレーム



新聞や会報に



Facebook でも



2 なぜ?どんどん増える!? デジカメ写真

まずデジタルカメラとして撮影できる機器が身近にどんどん増えていることがあります。いわゆるデジタルカメラ以外にも、携帯電話のカメラ機能、スマートフォン、iPad など代表されるタブレットは、どれも立派なデジカメと言えます。

だから、気楽に撮影できる反面、気がつくと、ちょっとした旅行などで数百枚単位の写真を撮影していることも珍しくありません。

でも、デジカメや携帯の小さな液晶画面ではきれいに撮影できているかどうか分かりづらいですし、数百枚もの写真をそこで確認するのは骨の折れる作業です。

そこで、一度パソコンに読み込んで、大きな画面で見て管理すると便利なのです。

撮影に失敗した写真を簡単に消すこともできますし、お気に入りの写真を前の説明のような作品に、色々なアイデアをもとに仕上げることもできます。

知っておこう デジタルカメラとして使える様々な機器

- ・ 携帯電話

おなじみの携帯電話です。



- ・ スマートフォン

電話機能を持った薄型のコンピューターです。



Android スマートフォン

- ・ タブレット

スマートフォンよりも少し大型で板状のコンピューターです。

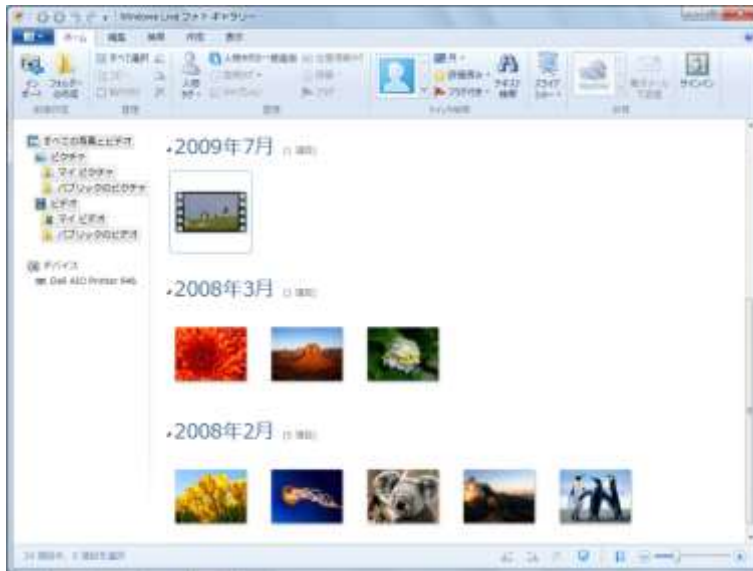


iPad

3 たくさんの写真を管理するには？専用ソフトを使おう

“写真を楽しく使う”その第一歩は、デジタルカメラで撮影した写真などをパソコンに読み込み、管理することから始まります。

大量に集められた写真を気軽に簡単に管理するには“写真管理ソフト”を利用するとよいでしょう。特に、「Windows フォトギャラリー」は、Windows Live プログラムをセットアップすることにより使用できる写真管理ソフトで、無料のソフトですが、簡単に、多くの写真を管理することが可能です。



知っておこう 写真管理ソフトの便利な機能

写真管理ソフトにはさまざまな機能が用意されています。

① アルバム機能

パソコンに読み込んだ写真に、さまざまな条件を与え、それらをアルバムとして管理します。例えば「こどもの写真を年齢ごとにまとめる」「運動会だけまとめる」「春に撮影したものだけまとめる」といった具合です。

このように、ある条件を加えてまとめられたアルバムを“仮想アルバム”と呼びます。

② 編集機能

写真の色や明るさなど、基本的な写真編集を行うことができます。

③ 表示機能

写真を拡大する。複数の写真をスライドショーとして見る。といったことができます。

④ 印刷機能

お手持ちのプリンターで写真を印刷することはもちろん、インターネットを通じて“オンラインプリント”を行うこともできます。

⑤ 他のプログラムとの連携

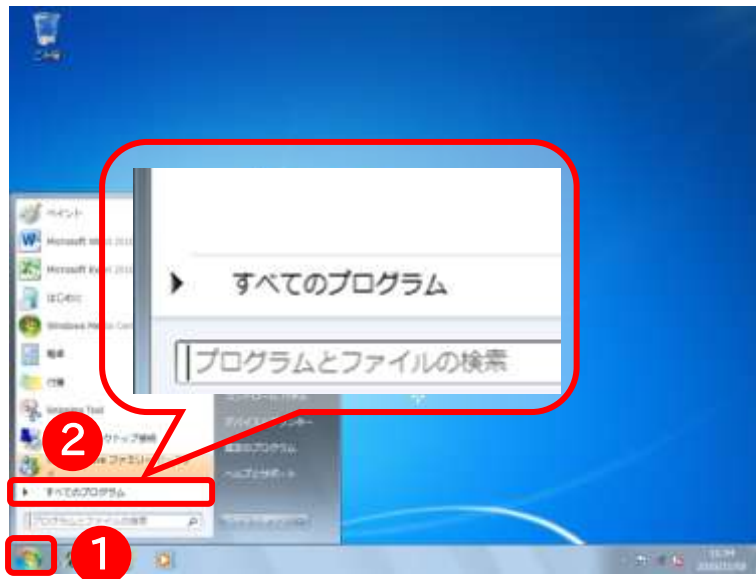
写真をメールで送信したり、写真を利用したムービーの作成をしたり、と他のプログラムと連携させることができます。

-3-1 Windows フォトギャラリーを立ち上げよう

まずはパソコンに入っている、Windows フォトギャラリーを立ち上げましょう。
パソコンにフォトギャラリーが入っていない場合は、最後の章を参考にセットアップしましょう。
※パソコン教室などで学ばれている方は、教室の先生に尋ねてください。

ここで行いたい内容は？

Windows フォトギャラリーを起動する方法を覚えよう



①

《スタートボタン》をクリックしましょう。

②

表示された《スタートメニュー》から《すべてのプログラム》をクリックしましょう。



パソコンに登録されているプログラムの一覧が表示されます。

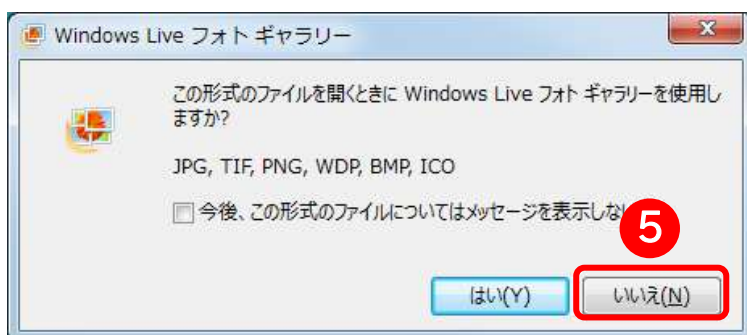
③

《Windows Live フォトギャラリー》をクリックしましょう。



④

Windows Live ID でのログイン画面が表示されたら、ここでは《キャンセル(N)》をクリックしておきます。

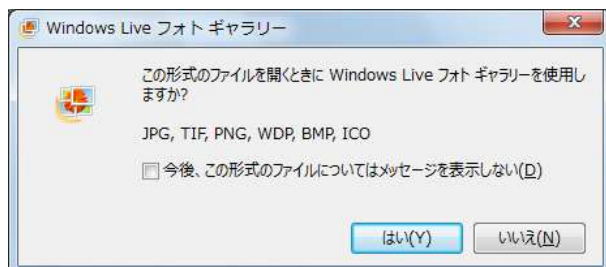


⑤

[この形式のファイルを開くときに Windows Live フォトギャラリーを使用しますか]メッセージが表示されたら、今回は《いいえ(N)》をクリックしましょう。

参考 写真などを開くとき、Windows Live フォトギャラリーを使用する

Windows Live フォトギャラリーを起動すると下記のようなメッセージが表示される場合があります。



デジカメ写真によく使われている形式(ファイルの種類)は、パソコンにとってはよく使う種類ですのでフォトギャラリー以外でのソフトでも開けることが多くあります。

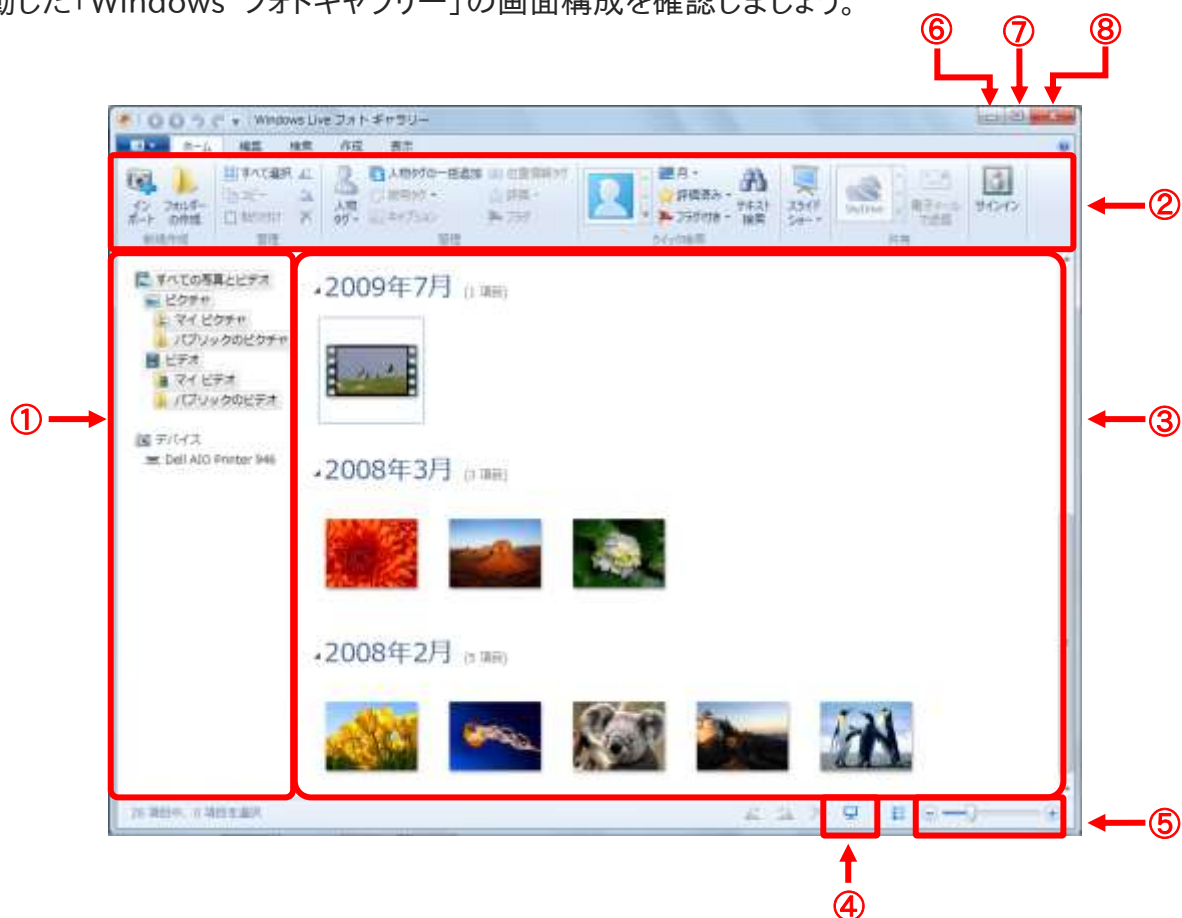
そのため、フォトギャラリーを常に使いたい場合は《はい》を、そうでない場合は、「今後、この形式のファイルについてはメッセージを表示しない」をチェックし、《いいえ》をクリックしましょう。(チェックしない場合、毎回このメッセージは表示されます)

テクニック Windows フォトギャラリーが“あるはずなのに”見つからない

パソコンに登録されているプログラムが多い場合、スタートメニューの一覧に表示しきれず見えないこともあります。その場合はメニュー内をスクロールして探してみましょう。

-3-2 Windows フォトギャラリーの画面を見て見よう

起動した「Windows フォトギャラリー」の画面構成を確認しましょう。



NO	名称	主な役割
①	ナビゲーションウィンドウ	ファイルの種類や保存フォルダー、仮想アルバムを切り換えて写真を表示できます。
②	リボン	Windows フォトギャラリーで利用できる様々な機能がここから利用できます。
③	フォトギャラリー	写真の一覧が表示されます。
④	スライドショー	スライドショーを実行します。
⑤	ズーム／スライダー	画面を拡大して見たいときや、縮小して見たいときに使用します。
⑥	最小化ボタン	フォトギャラリーの画面を一時的に非表示にしたいときに使用します。
⑦	最大化／元に戻すボタン	フォトギャラリーの画面を元のサイズに戻したり、モニター全体まで広げたりするときに使用します。
⑧	閉じるボタン	フォトギャラリーでの作業を終了したいときに使用します。

参考 テキストと表示されている写真が違う？

パソコン内に保存されている写真は、それぞれによって異なります。
上記の画面に表示されている写真は、Windows7 標準の写真ファイルです。

4 パソコンにデジカメの写真を読み込もう

Windows フォトギャラリーを利用すれば、デジタルカメラやパソコン内の別のフォルダー、その他の機器から簡単に写真(写真)をパソコンに読み込むことが可能です。

-4-1 デジカメからパソコンに、直接写真を読み込むには

最も一般的なのはデジタルカメラからの読み込みだと思います。カメラをパソコンに繋げるだけで簡単に読み込むことができます。記録カードをパソコンに挿入して読み込む方法で行いたい方は次の項目をご覧ください。

ここで行いたい内容は？

デジタルカメラから直接パソコンへ読み込もう



①

デジタルカメラの“電源を切った状態”で、専用ケーブルでパソコンに接続します。

デジタルカメラとの接続

ほとんどのデジタルカメラは USB ケーブルで接続できます。パソコン側の差込口は下記のような形をしています



差込の向きはありますが、間違って逆に挿すことはできないようになっていますので安心です。

!!ご注意下さい!!

ここから先は、読み込んだ写真によって異なりますので、教材に表示されている内容通りにはなりません。気になる箇所や操作は教室の先生と画面を確認しながら進めて下さい。

知っておこう 次の操作でうまく読み込めない時もあります

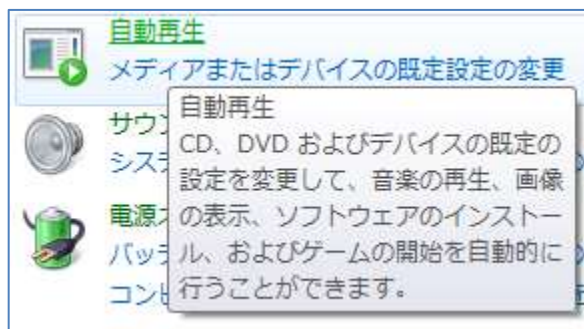
購入したパソコンの機種によっては次で紹介される、《自動再生》で Windows Live フォトギャラリーが表示されていない場合があります。その場合は、下の知っておこう「自動再生の設定を変えるには」もしくは以降の「テクニック」で方法を確認してください。

知っておこう 自動再生の設定を変えるには

デジカメからパソコンに写真を取り込む際のトラブルで多いのは自動再生の設定が変更されてしまうことです。

自動再生の設定を変えるには「コントロールパネル」を利用します。

- ① コントロールパネルを表示します。
- ② 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
- ③ 「自動再生」をクリックします。

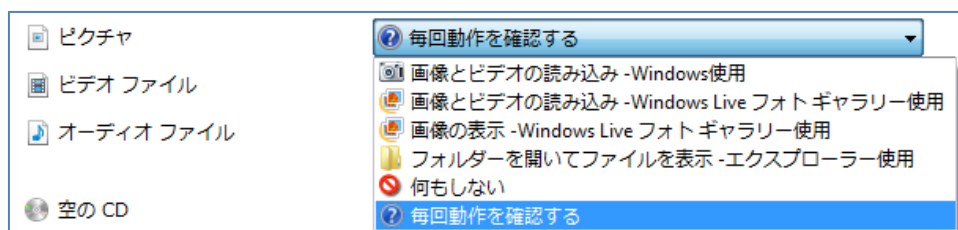


- ④ 「すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う(U)」がチェックされていることを確認します。

それぞれの種類のメディアまたはデバイスを挿入したときの動作を選択してください

☒ すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う(U)

- ⑤ 「ピクチャ」のリストから「毎回動作を確認する」を選択します。





②

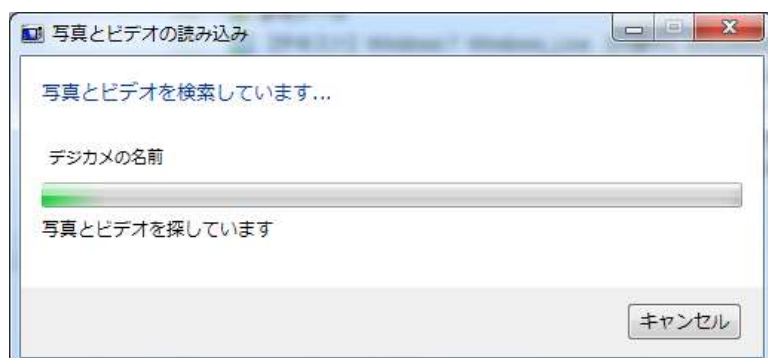
デジタルカメラの電源を入れ、接続モード(機種によって呼び名が違う場合あり)に変更します。
※自動的に切り替わるカメラもあります。
カメラによって異なりますので、心配な方は先生に確認しましょう。

デジタルカメラの取扱説明書を参考に、パソコンに写真を転送するモードに、デジタルカメラの設定を切り替えましょう。

③

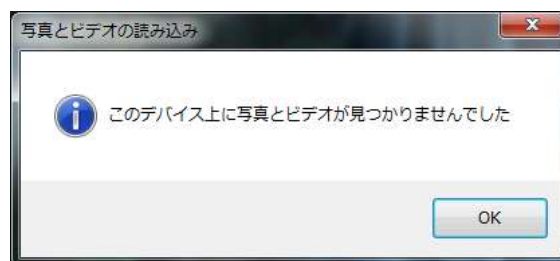
自動再生の画面が表示したら、《画像とビデオの読み込み -Windows Live フォト ギャラリーを使用》をクリックしましょう

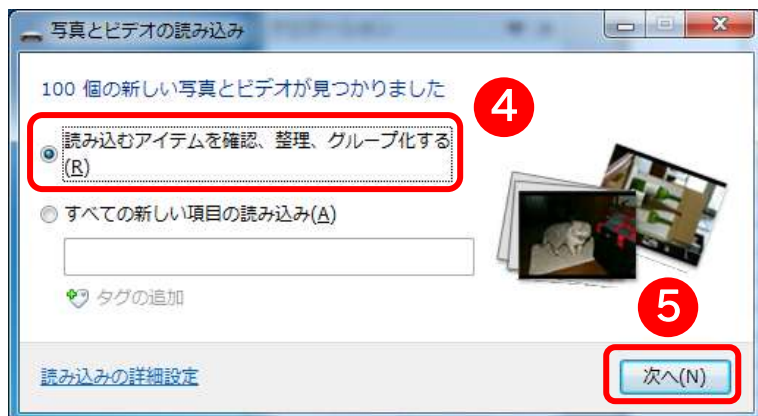
デジカメ内の写真を探します。
多くの写真がある場合は少し時間がかかります。



参考 デジカメに写真が入っていないと

右のようなダイアログボックスが表示され、デジカメ内に写真が無いことが知らされます。





デジカメ内の写真を探し終わると左のようなダイアログボックスが表示されます。

④

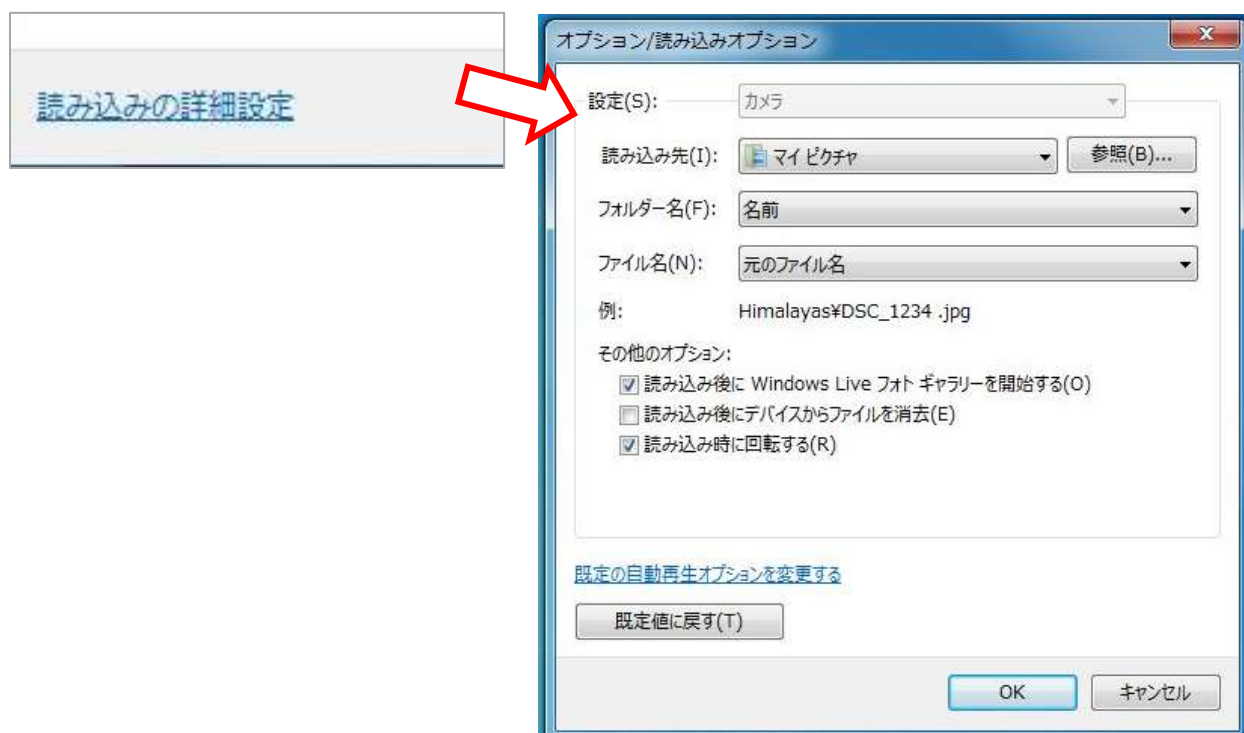
《読み込むアイテムを確認、整理、グループ化する(R)》にチェックします

⑤

《次へ(N)》をクリックしましょう

参考 読み込み設定を変更するには

読み込んだ写真データは「マイピクチャ」フォルダーに撮影時間帯または日にちごとにフォルダーを作成して保存されますが、保存先を確認する場合、また設定を変更したい場合はこのダイアログボックスにある「読み込みの詳細設定」から変更することもできます。



知っておこう 読み込むアイテム(写真)を選ぶ? それとも新しい項目をすべて読み込み?

《写真とビデオの読み込み》ダイアログボックスでは《読み込むアイテムを確認、整理、グループ化する》を選択しましたが、《すべての新しい項目の読み込み》でも構いませんが、Windows Live フォトギャラリーの便利さを生かすのであれば、上の選択肢がお勧めです。



自動的に写真がグループに分けられます。
グループの基準は時間です。

⑥

画面右下の《グループの調整 (R)》を動かして「1 日ごとにグループ化」を選びましょう。取り込んだ後にグループを変えることもできます。

⑦

取り込みたいグループの先頭に ☒ をつけましょう。

⑧

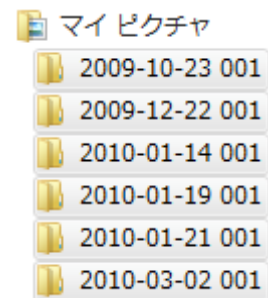
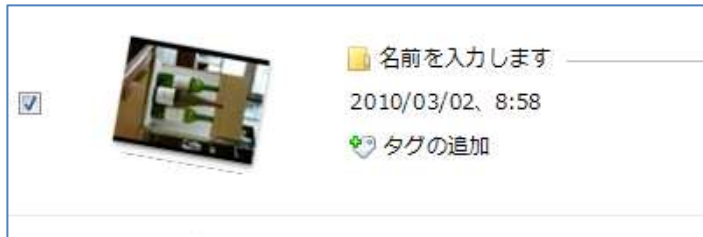
《読み込み (M)》をクリックしましょう
読み込みされてもデジカメ内の写真は消えない設定になっています。
※前の「読み込みの詳細設定」で自動的に消去する設定に変えることもできます。

参考 読み込み時に名前やタグを設定する

《写真とビデオの読み込み》ダイアログボックスで設定可能な「名前を入力します」は読み込み後のフォルダー名となります。通常、Windows Live フォトギャラリーで読み込んだ写真は「マイ ピクチャ」フォルダーの中にフォルダーごとに分けられて保存されます。

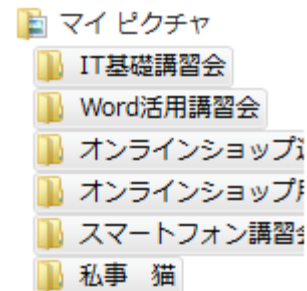
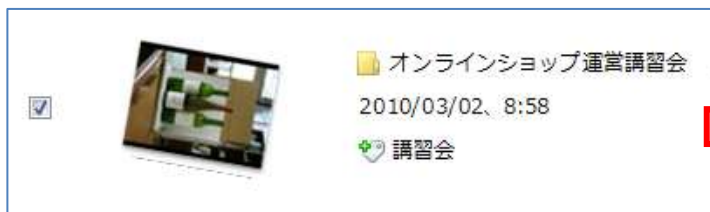
【そのまま自動設定で読み込んだ場合】

日付で分けられます

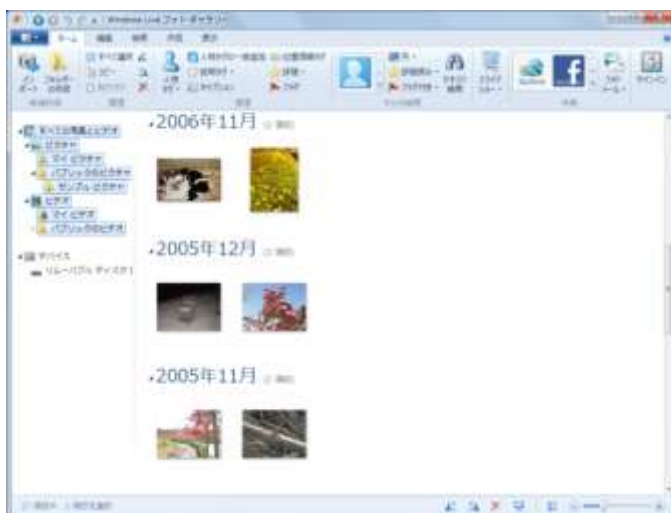


【自分で名前を入力した場合】

自分のつけた名前でフォルダーが作成されます



自動的に写真の読み込みが始まります。
※自分のデジカメや教室で準備した写真を使いますので、読み込まれた写真の内容や順番は図と異なるはずですが



Windows Live フォトギャラリーに写真が読み込まれました。